

女夫石遺跡発掘調査速報

No.32

今回も山のお話。女夫石遺跡の平安時代の竪穴住居跡から緑釉陶器が発見されたのはNo.20で紹介しました。韮崎市内では藤井平の宮ノ前遺跡などで発見されていますが、数少ないこともお話しました。そんな数少ない遺跡の一つに標高千沓（比高差六百沓）にある苗敷山山頂遺跡（江沖カガチイ特）があります。甲府盆地から鳳凰三山を眺めると手前に牛が寝そべっているような山があります。これが苗敷山です。平安時代の頃から信仰の山としてあがめられています。そんな山の中には平安時代をはじめとする遺物や遺構がたくさん広がっています。女夫石遺跡に住んでいた平安時代の人たちが苗敷山を知っていたかどうかは分かりませんが、ちょっと紹介します。



平安時代に、標高千沓の山の斜面を造成して竪穴住居が作られました。しかも重なり合って竪穴住居跡が見つかりました。たくさんの土器や陶器も発見されています。長い期間にわたって、山の中で信仰に関わる生活が営まれた証拠です。行ってみれば、まさかこんな山奥に・・・と思うような場所ですよ！信仰の場所が山の中じゃないといけな理由がきっとあるんだろうね！

沢リ：鳳凰三山と関係の深い山の一つに苗敷山（なえしきさん）っていう山があるらしいよ！女夫石遺跡と同じ平安時代の遺跡が山の上にあるんだってさ！緑釉陶器なんかも発見されているらしいよ！

マキ：標高千沓にあるんだよね。そんな寒いところにあるなんて、何か意味深い遺跡だよ。どんな遺跡なんだろう？

沢リ：『甲斐国志（かいこくし）』っていう江戸時代の地誌（しち）には信仰の山として書かれているんだよ。今も信仰の山として地元で慕われているらしいよ。山の上には穂見神社（ほみじんじや）があったり、宝生寺（ほうしょうじ）の礎石（せせき）が残っていたりするんだってさ。

マキ：そーいえば、数年前に発掘調査で、竪穴住居跡も発見されたんだよね。確か、ふもとからは六百沓も高さが違うところに何のために住んでいたんだろうね？

沢リ：きっと、山頂のお寺とか神社とかを管理したり、山を管理したりしたんじゃないかな？今、山梨県埋蔵文化財センターの人たちが発掘調査しているみたいだから、何か分かってくるかもしれないね！

マキ：他の遺跡のことも考えると、女夫石遺跡の果たした役割りも分かってくるかもしれないね。（つづく）



苗敷山の山中の文化財

詳しいことを知りたい人は11月23日のウォーキングに参加しよう！

来も見てね！

平成18年度第2回ふるさと歴史再発見ウォーク

信仰の山・苗敷山ウォーク

—苗敷山山頂の信仰空間を体感—

苗敷山をみなさんご存知ですか？標高千メートルの山頂部に神社や寺跡が広がっています。ふもとからの参道沿いには江戸時代の丁石が点々と残っています。古代からはじまる苗敷山に対する信仰は葦崎だけではなく甲斐国全体でも重要な位置づけをされています。そんな歴史を持つ苗敷山をふもとから登ろうというのが今回の企画です。しかも、今回はなんと苗敷山山頂部で実施中の発掘調査の見学も含まれています。ウォークの当日に何を見ることが出来るのかはお楽しみに！みんなで先人たちの信仰の空気に触れてみませんか？

開催日時：11月23日（木）勤労感謝の日

集合時間：午前8時30分 解散時間：午後2時30分頃

（徒歩スピードにより変動します）

集合場所：御勅使公園（県立北病院・あけぼの医療福祉センター付近）

定員：50名（要申込み。定員になり次第締め切り）

参加費：50円（保険加入費）

申込先：市中央公民館 ☎0551-22-1121（月～金の午前9時～午後5時）

申込受付期間：11月1日（水）～11月20日（月）

*登りに2～3時間程度かかります。軽登山とご承知おください。

*雨天中止。

*雨具・昼食・飲み物等は各自で必ずご準備ください。

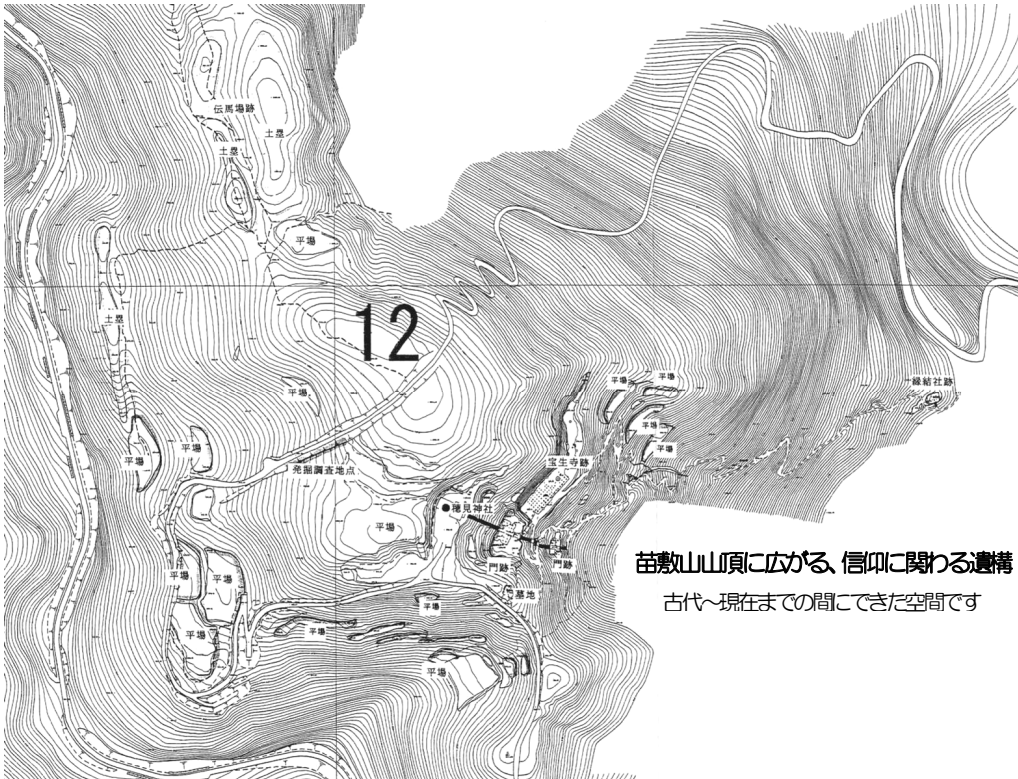
*保険加入費として50円をご持参ください。



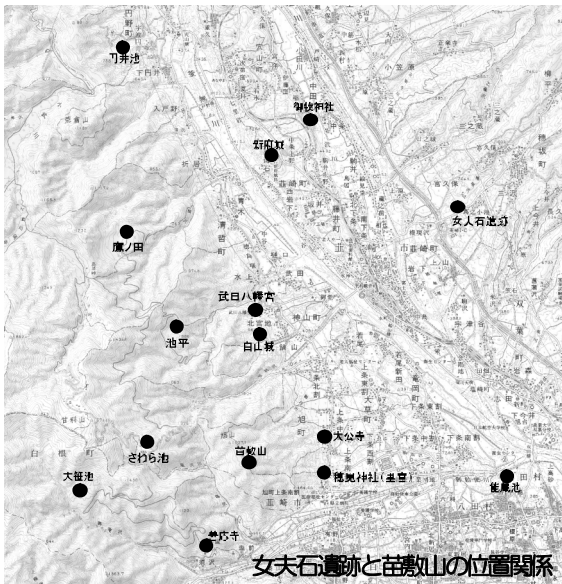
集合場所

主催：葦崎市・葦崎市教育委員会・葦崎市中央公民館 協力：山梨県埋蔵文化財センター

作成：葦崎市教育委員会 教育課 生涯学習担当 「UT」 0551-22-1111（内269） 平成18年11月16日



苗敷山山頂に広がる、信仰に関わる遺構
古代～現在までの間にできた空間です



女夫石遺跡と苗敷山の位置関係

苗敷山の発掘調査見学会を兼ねたウォーキングが11月23日に開催されるよ！

紅葉も楽しめると思うからみんな参加してね！先着50名募集らしいから、申し込みしてない人は、早めに申し込んだ方がいいよ！

